

Case : 125

手に持っていた杖が車いすと花壇との間に挟まり、杖が曲がる

### 場面の説明

利用者が手に持っていた杖が、車いすの外にはみ出していることに介助者が気づかず、歩道の端を走行したために杖が花壇に引っかかってしまった



|                |  |
|----------------|--|
| 利用シーン          |  移動<br> 外出 |
| 主な利用場所         |  その他  |
| 介護保険の種目        | —  |
| 分類コード (CCTA95) | 120303 (ステッキ・T字杖)  |
| 介護テクノロジー       | —  |
| 二次元バーコード       |    |

### 解説

このような事例に限らず歩道の縁石や電柱など、街には様々な障害物があります。また、駐車車両にぶつけてしまったり、他の歩行者、特に子どもなどを傷つけてしまうような危険もあります。杖は手に持たず、専用のホルダーを装着するとより安全です。

### 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：杖を手に持っていた
- 人：死角になっている箇所に注意がなかった
- モノ：車いすに杖ホルダーが装備されていなかった
- 環境：歩道が狭かった